



としょかん 図書館だより

平成30年10月号
城山中央小学校

ひとよ
おうちのひとと読みましょう

* 10月生まれの絵本作家 岩崎 京子

人と動物や草花との不思議な物語や、昔話に題材をとった心に残る作品を、端正な文章で美しく描き、90歳を超えた現在も活躍中。「かさこじぞう」「十二支のはじまり」「よっぱらったゆうれい」など本校の図書室にもたくさんの本があります。1922年10月26日生まれ。



読書の秋がやってきました。

城央小の読書月間が始まりますよ！

10月22日(月)～11月22日(木)

先生の読み聞かせ

あなたのクラスでお話を聞かせてくれる先生は誰？先生もお話も当日までのお楽しみ。(10/23)

本のお楽しみ袋

どんな本かは借りてからのお楽しみ！袋に書かれているヒントを手掛かりに選んでね！(11/12～)

絵本の国 フェスティバル

図書委員が、大型スクリーンに映し出された画像にあわせて、読み聞かせを行います。



武田英子/文
講談社

演目：「八方にらみねこ」
日時：11月14日(水)

昼休み
場所：体育館

ビブリオバトル

あなたの大好きな本を紹介してね。一番読みたくなるのは誰の紹介した本か、みんなで決めましょう。(読書月間中)

読書の記録 大抽選会

10月と11月の「読書の記録」にラッキーキーワードがあれば、すてきな特製しおりをプレゼント！(キーワードは12月に発表します。)

*「読書月間」は、図書のお祭り。みんなが参加できる楽しいイベントがたくさん用意されています。楽しみにしていてくださいね！

♡キュートなわたしたちを見てね♡

みなさんが大好きな絵本の主人公が、絵本の中から飛び出してきました！図書室入口のガラスケースを覗いてみてくださいね！(このぬいぐるみたちは、ボランティアの方々が製作してくださいました。)



家族で読めばもっと楽しい！

～夏休みの家読をご紹介します～



夏休み期間中には、家読に取り組んでいただきありがとうございました。保護者のみなさまから寄せていただきました「家読カード」や「家読郵便」から一部を紹介いたします。ご家庭での楽しい家読の様子がよく伝わってくるものばかりでした。



『ありこのおつかい』石井桃子／作 福音館書店

ひとりで本を読んでいる時とは違い、一緒に読むと楽しそうにしていました。読んでいる途中でも絵や文章に思ったことを言いながら読んでいきました。（2年 母）

『ありがとうともだち』内田麟太郎／作 偕成社

魚つりに行ったオオカミが一匹も釣れなかった時に、キツネの励まし方がとてもやさしい気持ちになりました。お友達やまわりの人と接する時に思い出してくれたいと思います。（3年 母）



『あらしをよぶ名探偵』杉山亮／作 偕成社

おすすめしてくれた本、とてもおもしろかったね！一緒にいた妹も喜んでいました。またお気に入りの本が見つかったら教えてね。（4年 母）



『うなぎ一億年の謎を追う』塚本勝也／著 学研プラス

なかなか子どもと同じ本を読む機会がないので、今回は楽しく参加させてもらいました。不思議なウナギの生態が面白かったです。（5年 父）



おはなし給食 ④

テーマ「トマト」



9月25日（火）の「とまとちゃんのスープ」にちなみ、図書委員のM.Sさんが「やさいのがっこう〜とまとちゃんのたびだち」（なかやみわ／作 白泉社）を紹介しました。真っ赤なトマトになるためにがんばるとまとちゃんをあなたも応援してくださいね。



先生の本棚

「大家さんと僕」矢部 太郎／著 新潮社



すぎたせんせい
杉田先生

売れないお笑い芸人の矢部さんは、古い一軒家の二階に引っ越しました。一階に住んでいる大家さんは「ごきげんよう」とあいさつする上品なおばあさんです。矢部さんの誕生日に大家さんがサプライズでお祝いしてくれたのは、ケーキではなく、なんとおはぎでした。二人のやりとりがかわいそうで笑えたり、大家さんの昔の話に胸がじーんときたり、読むと心が温かくなる本です。みなさんにもおすすめします。

